

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 自然環境課	石川 拓哉
施策名	4 しまや半島など地域活性化の推進	事業群関係課(室)		
事業群名	⑤ 地域振興のための自然資源の活用	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額 112	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画テェンジ&チャレヅ2025 本文)		(取組項目)							
人々の価値観の変化やニーズの多様化が進む中、国立公園やジオパーク等の地域の豊かな自然をより深く理解・体験し楽しむことを通じて、少しでも長く滞在し何度も訪れたいくなるような滞在環境の魅力が向上する取組を推進します。		i) 自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進 ii) 国立公園雲仙の滞在環境上質化 iii) 国立公園とジオパーク等の連携							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	自然資源を活用した利用環境整備箇所数(累計)	目標値①	2箇所	4箇所	6箇所	8箇所	10箇所	10箇所(R7)	
		実績値②	—	—	—	—	—	進捗状況	
	達成率②/①	—	—	—	—	—	—	—	
令和2年に雲仙市が策定した観光戦略に基づき、国、県、市、民間が連携して国立公園雲仙地区の活性化に取り組んでおり、県は国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業として、国の交付金を活用して目標通り整備を進めている。									

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和2年度事業の成果等				
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		R元目標	R元実績	達成率					
取組項目 ii iii	○	1	国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業	R2実績	112	92	10,171	【活動指標】 コンテンツと連携した歩道等の再整備箇所数(箇所)(累計)  【成果指標】 雲仙天草国立公園(雲仙地域)の利用者数(千人)	—		—	—	●事業の成果 ・事業内容について検討・確定したが、工事は繰越となった。		
				R3計画	121,253	745	14,866		2	—	—				
			事業実施の根拠法令条項			法令による事業実施の義務付け			県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	事業対象				
			事業期間	所管課(室)名			—			—	—	—			
			R2-6	—			国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者	2,192	—	—					

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和2年度にインバウンドの基盤的な受入環境である多言語解説標識・トイレの洋式化実施する予定であったが、令和3年度に繰り越すこととなった。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 繰越工事を早期に完了するとともに、引き続きインバウンドの受入環境を充実させるため、自然資源を活用したコンテンツの受け皿となる施設整備を行っていく。</p>
<p>ii 国立公園雲仙の滞在環境上質化</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和2年度に興味ポイントにおける解説文の設置及びトイレの洋式化によるバリアフリー化を進め利用環境の質の向上を図る予定であったが、令和3年度に繰り越すこととなった。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 施設のユニバーサルデザイン化を進め、利用者が安全・安心して自然にふれあい、楽しめる環境づくりを行っていく。</p>
<p>iii 国立公園とジオパーク等の連携</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 令和2年度に島原半島ジオパーク協議会と連携を図り、国立公園内のジオサイトに解説板を設置し、ジオパークの認知度向上にも寄与を図っていく予定であったが、令和3年度に繰り越すこととなった。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 引き続き、島原半島ジオパーク協議会と連携を図り、国立公園内のジオサイトにおける解説板等の整備やジオツアーの受入環境整備を図っていく。</p>

### 4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名 事業期間 所管課(室)名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
i ii iii	○	1	国立公園雲仙利用拠点上質化プロジェクト推進事業 R2-6 自然環境課	国立公園の利用拠点として、周辺資源を活用し、国、市、民間と連携して更なる魅力向上に取り組む。	⑦	令和3年8月の大雨による災害に対して迅速に復旧対策を実施するとともに、国、県、市、民間が連携して更なる魅力向上のための復興に向けて取り組む。	改善

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

#### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点